

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2026年03月25日

事業所名：放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービスSORA時津

対象人数（保護者）5人 回答者数5人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1			なし	
	②	職員の配置数は適切だと思いますか。	5				なし	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5				なし	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				なし	
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				なし	
	⑥	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				なし	
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	5				なし	
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				なし	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				なし	
	⑩	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				なし	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	1	なし	
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5				なし	
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				なし	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		2	なし	
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5				なし	
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				なし	
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				なし	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18	1		2	2	なし	
	19	4			1	なし	
	20	5				なし	
	21	4			1	なし	
	22	5				なし	
非常時等の 対応	23	4			1	なし	
	24	3			2	なし	
	25	5				なし	
	26	4			1	なし	
満足度	27	5				なし	
	28	5				なし	
	29	5				なし	

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのかわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。